

駅の南北を快適に結ぶ

広島駅 自由通路・橋上駅舎



デザインコンセプト

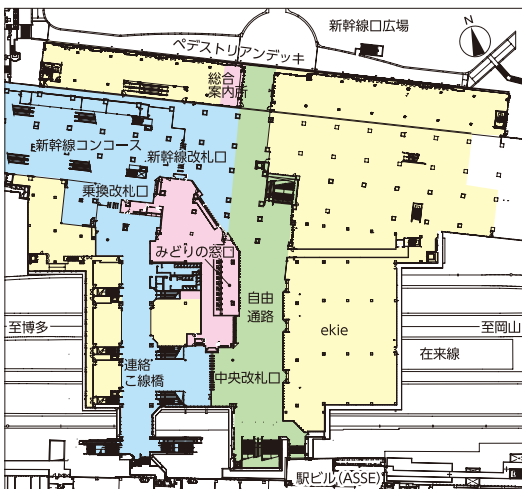
～広島ならではの「おもてなし」を感じる空間～

- 天井は平和の香る白色を基調とした淡い上品な配色とし、「折鶴」を連想させる「折り」を表現し、平和への思いを込めました。
- 床面には「広島を流れる6本の川」や「鯉」、柱や壁には「折り」や「もみじ」をあしらひ、広島らしさを表現しました。

構造の工夫

～エコな建物～

自由通路とこ線橋には、高い位置に風が通る明り取りを設け、昼間は自然採光により明るさを確保し、自然換気により排熱、排煙を可能とし、快適な空間を創出しています。



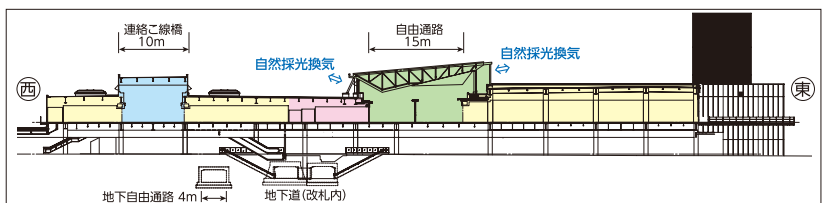
平面図(2階)

施工の工夫

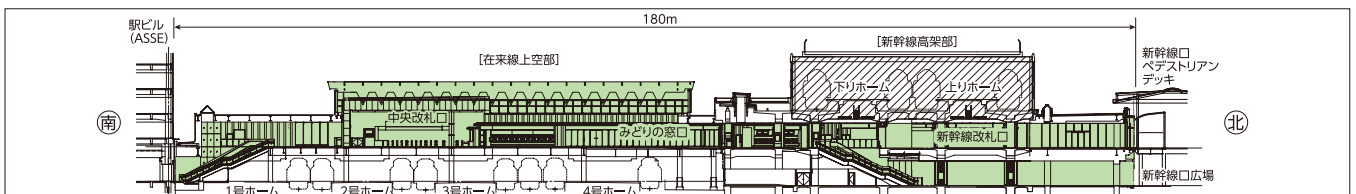
- 自由通路の工事は線路とホームの上空での工事であり、駅の機能を確保しながら進める必要がありました。そのため、工事は深夜の限られた時間帯で少しずつ進めました。建物の骨組みを作る工事では、事前に部材を大きなユニットにし、深夜に巨大クレーンで一気に組み立てました。
- 広島市の市街地は、三角州の上に発達したため地盤が弱い特徴があります。そこで、建物を支えるため、ホームの地中に直径約2m、深さ約30mのコンクリートの柱を50本以上埋め込みました。

整備の効果

- これまで広島駅の南北の移動は地下自由通路に限定されていましたが、今回2階レベルで広い自由通路が完成したことで、よりスムーズで快適な行き来が可能となりました。また、駅舎(みどりの窓口、改札口等)、総合案内所も自由通路に面して配置され、より利用しやすい広島駅になりました。
- さらに自由通路に面して店舗(ekie)が開業し、駅周辺全体の賑わいが生まれることが期待されています。



断面図(東西方向)



断面図(南北方向)